

元郷氷川神社御遷座四百年奉祝記念 社務所改築事業趣意書

謹啓 皆様におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。また常日頃より当社の護持運営に格別なる御協力を賜りまして誠にありがとうございました。

当社の歴史を紐解きますと、『新編武蔵風土記稿』には南平柳地区の開祖とも云うべき平柳蔵人が、霊夢の告により武蔵國一宮である氷川神社の御神霊を勧請してお祀りしたことに始まり、創建当時は荒川の堤側に鎮座されておりましたが度重なる水難を避ける為に江戸時代の初期、元和八年（一六二二年）に現社地へ遷座されたと記されており、爾来永きに亘り産土神として地域の人々の生活を守護し信仰を集め現在に至ると共に、本年は前述の御遷座の年から数えて四百年という佳節の年に当たります。

標記の件でございますが、現社務所は築五十年以上を経て老朽化が進み外壁の剝落による鉄筋の腐食を始め、床の沈下、白アリによる被害などが其処彼処に見られ危険性が高まっていることから、日頃の御神恩への感謝、また御遷座四百年を盛大に奉祝すべく社務所の改築計画を立案し役員一同で協議し実施する運びとなりました。

コロナ禍またウクライナ危機で大変厳しい情勢下ではございますが、事業完遂の暁には大神様の更なる御神威の発揚により鬱屈とした現況が改まり、穏やかな生活が再び訪れることを願ひまして、氏子崇敬者皆様の格別なる御理解と御協力を賜り御遷座四百年の奉祝記念事業が遂行出来ますよう御奉賛下されたく何卒お願い申し上げます。

謹白

令和四年九月吉日

元郷氷川神社 宮 司	大澤 幸蔵				
元郷氷川神社 責任役員 (兼奉賛会会長)	池田 幸一				
全 責任役員	増田 義一	黒川 恭次	山下 栄一		
全 総 代	大熊武右衛門	片野 輝一	望月 佳司	鳴神 英雄	瀧田 正弘
元郷氷川神社奉賛会役員	伊藤 高太郎	倉田 一男	田村 博	小林 宏敬	中山 孝浩
	平野 陽一郎	谷田部 幸次	原田 孝一	永瀬 龍夫	池田 東央
	片野 幸夫	野尻 保徳	橋本 博	伊藤 良二	倉田 健次郎

氏子崇敬者 各位

元郷氷川神社御遷座四百年奉祝記念 社務所改築事業概要

- 一、事業内容 社務所改築
- 一、事業費 約七四〇〇万円
- 一、奉賛金 一口壹万円より（一口以上何口でも可）
- 一、ご奉賛受付期間 令和四年九月一日 ～ 令和五年九月末日迄



社務所外観イメージ



ホール・廊下イメージ



会議室（多目的室）イメージ